

「学校関係者評価」を実施しました

～ 第3回地域学校運営理事会～

2月26日(火) 第3回地域学校運営理事会を開催しました。この日は理事に加え教職員が参加し、「学校関係者評価」を実施しました。それぞれの評価項目ごとに学校の担当者による教育活動の実施の状況と自己評価の説明の後、理事から質問や意見交換を行いました。

理事と教職員が意見を交える中で、取組の課題と来年度に向けた改善策が明らかになってきました。また、教職員にとっては理事と直接意見交換できたことで、学校内部からの視点だけでなく、外部からの視点でこれまでの取組を振り返るよい機会となりました。

以下、理事の主な意見()や来年度に向けての改善策等の一部()を紹介します。また、昨年12月に行った保護者・生徒アンケートの結果を別紙に載せていますのでご覧ください。(()内の数字は4段階の校内評価です)

1 地域に開かれ信頼される学校づくりの創造

「地域学校運営理事会の充実」(3.2)

学校評価アンケート(保護者・生徒)項目を見直し、保護者等の意見がもっと反映しやすいものにしてはどうか。

開かれた学校づくりに関し、学校行事等での来校者を増やすために、呼びかけを一層進めるとともに学校に行きやすい工夫を考えるべき。

たよりやHP等の情報発信について引き続き積極的に行う。

「地域学校運営ブロック協議会」の充実(2.8)

地域には教育力をもった人材や組織がたくさんある。積極的に活用すべき。

子育て講演会の参加者が多くなるように呼び掛けや実施の工夫を行う。

小中一貫教育の推進(2.6)

本年度、児童生徒の交流活動を実施した。今後も継続していきたい。

小中で、人権・同和教育に関する情報交換を行っていく必要がある。

学校事務の改善と共同実施(3.0)

文書の集中管理を本年度から実施したが、来年度一層推進する。

教材備品、消耗品の購入について本年度予算委員会を開いて効果的に購入できた。今後も、継続していく。

2 一人一人に生きる力を育むための教育の推進

学力向上の取組(2.9)

わかりやすい授業を推進するために、授業改善を進めていく必要がある。

「言語活動」を意識した授業展開を推進するとともに、教科間・学年部間の授業参観を進め、授業力を向上させる。

本年度、道徳の副読本を取り入れるとともに指導の重点化を図った。来年度、校内研修会を進め、指導力向上を図る。

「ふるさと教育」の推進(2.8)

職場体験や職場訪問は教育的効果が高い。来年度も継続していきたい。

体験活動の充実(2.8)

ボランティアにたくさんの生徒の参加があり、時には戦力となるなど地域としてとても感謝している。一層の参加をお願いしたい。

生徒が地域で活動することはたいへん意義深い。今後も継続してほしい。

来年度は、ボランティア活動を生徒会活動と繋げて取り組む。

部活動ガイドラインによる実施(2.7)

部活動リーダーを育成していく必要がある。「キャプテン会」のような組織を作り、ルールやマナーの向上を図る。

読書活動の推進(2.9)

図書室が良く整備されている。今後も図書室の整備を一層推進してほしい。

本年度、読書ヘルパーやボランティアのおかげで図書館が充実し、利用生徒が増加した。さらに、教科で使える図書室の整備を推進する。

3 児童生徒一人一人を大切にす教育の推進

人権・同和教育の推進(3.0)

いじめ防止のために、互いに違いがあることを認めるとともに、違いがあることを大切にす教育推進してほしい。

いじめはいつでも起こりうるので、いじめに対してみんなでカバーできる力をつけてほしい。人権週間や人権集会を中心に積極的な取組を行ったが、さらに生徒会の取組を加えていく。

支え合う集団作りの推進(3.0)

生徒会主催のボランティアは続けてほしい。

2回のQ-Uテスト(楽しい学校 生活を送るためのアンケート)が学級集団づくりや支援が必要な生徒への理解等に役立った。職員研修等によりさらに効果的に活用したい。

児童生徒理解と支援体制の構築(2.9)

職員の共通理解に基づく指導により、職員室への出入りなどのマナーについて向上した。ただ、通学用の靴について守れなくなっている。

靴については明確な基準を持つとともに、柔軟な対応をしてほしい。

生徒に対してしっかりと褒める教育を推進してほしい。

行事を通して自己指導力、自己有用感を育てることができた。来年度一層充実した取組にする。

十分な時間の確保が困難だったが、教育相談を期間をきめて行うことができた。

不登校児童生徒への支援(3.0)

学びいきいきサポーター、スクールヘルパーの補助もあり細やかに支援ができた。今後、関係機関とも連携しながら個々に応じた支援をしていく。

特別な支援を必要とする児童生徒への支援(2.7)

生徒や保護者に対しての啓発が十分でなかった。今後、教職員の研修を進めるとともに、たよりを発行するなど啓発をしていく。

「生命を考える教育」の推進(3.1)

どの学年も「性に関する指導」を行うことができた
来年度は今年度の取組をもとに計画的に実施する。

4 安全・安心な学校づくり

学校保健、学校安全、危機管理への取組(3.1)

「薬物乱用防止教育」等計画的に行った。

避難訓練を火災、地震、不審者対応と外部機関と連携して取り組んだ。来年度はさらに工夫を加えて充実した取組とする。

施設・設備の安全維持(3.0)

修理箇所については見つけ次第対応した。ただ、安全点検が毎月きちんと行うことができなかった。安全、安心な学校づくりのために施設管理は基盤である。毎月の点検を確実に行うとともに、それにたよらず、日常的な点検を大切にすべき。



第3回理事会の様子です

理事会や生徒の活動状況(11月以降)

生徒のボランティア活動

○部活動単位での奉仕作業

出雲市市民ボランティアウィークにあわせ、部活動単位でボランティア活動に取り組みました。

具体的には、ソフトテニス部が学校周辺の道路のゴミ拾い、野球部が長浜海岸清掃、放送部がグループホーム「なかや浜山の里」での読み聞かせ、吹奏楽部が長浜産業祭での演奏をしました。

○浜山松苗植樹祭

3月10日(日)、陸上部と剣道部の1,2年生約50名が浜山松苗植樹祭に参加し、松苗植樹のお手伝いをしました。あいにくの雨天でしたが、浜山切り割り道路付近で高松地区の皆さんや小学生とともに松の苗を植えました。

制服リユース

11月1日(木)の文化祭にあわせ、制服(体操服)のリユースを行いました。多くの保護者の皆さんに制服や体操服を持って帰っていただきました。

卒業生や地域の皆様のご協力ありがとうございました。保護者の皆様には、お子様の卒業で不要になった制服がありましたら学校までお届けいただきますようお願いいたします。

子育て講演会

前回のたよりでもお知らせしましたが、昨年度から小学校と連携した「子育て講演会」を行っています。

浜山中学校では、11月6日(火)に2年生の保護者を対象に岩宮先生(スクールカウンセラー、島根大学准教授)に「思春期のこころと外見～「ハウルの動く城」から考える～」と題して、また2月1日(金)には新入生の保護者を対象に三嶋先生(島根大学特任講師)に「思春期における親子の距離感」と題して講演をしていただきました。それぞれ約40名、約160名の保護者の皆さんに聞いていただきました。

図書ボランティア

前回のたよりで図書ボランティアを募集しましたが、たよりを見られた2名の方がボランティアに参加していただきました。図書ヘルパーやこれまでのボランティアとあわせ7名で、図書整備やブッカー作業などを行っていただいています。

今後も募集を続けますので、経験の有無に関係なく学校の図書充実に力をお貸しいただける方は学校までお知らせください。



ソフトテニス部 通学路のゴミ拾い



松苗植樹祭に陸上部・剣道部が参加



岩宮さんによる子育て講演会



図書ボランティアによるブックング

浜山中学校 地域学校運営理事会だより

平成25年3月 学校支援地域本部事業

一年を振り返って

地域学校運営理事長 今岡 実

安息日

室生犀星



末場の庶民ばかりが住む 町の夕方を歩いて自分は平和になった
家々の窓や軒には それぞれの花の鉢も置かれ
すだれも懸かって 親は肌脱ぎになり小さい子供を食卓に座らせ
楽しい講談本を読んだり お茶を沸かしたりしていた
その親の胸は太くてがっしりしていた
自分らにも増してこの平和な光景は いたく自分を喜ばした
彼らは決して貧しくはなく 豊かに飽きるほどの仕事を終わって
いま酬いられていると思うと 自分も励まされているような気がした
しかも夕方の蒼みのある空気はしっとりとはや露もふくんで
充実な夜 涼を彼らの家に送っていた

夕日が美しい詩情豊かな浜山中学校は、24年度も内外ともに充実していた。情熱的で優しい先生方に支えられ、人情厚い地区の人々に守られ、生徒の皆さんは存分に学んで幸せであった。希望に輝いた少年の顔は地域の宝で誇りです。理事会も、地域の皆様のご協力を得て些かなりとも学校支援に取り組めたことはありがたいことでした。厚くお礼申し上げます。

いじめや暴力がとり沙汰される昨今、教育現場も厳しい。浜山中学校もその渦の中かもしれませんが、それにしても、学校の教室はきれいで、生徒の学ぶ姿勢は楽しく、そして真剣です。島根県の学力調査でも好成績!!。師弟仲睦まじく友達同士で助け合い支え合う土壌が育っている雰囲気があります。学校は行事も多く忙しい。生徒の皆は勉強、部活動、ボランティア、研修等々にフル活動で一年間を過ごし、たくさんの経験をし、大きな成長に繋がった。私たちはその応援がどれほどできたのかは不明ですが、保護者の皆さんと共に成長を見守り続けました。

ここ数年「あいさつ運動」を展開しています。「いじめなど問題外だ!!」と受け止める強い人間力の向上のためにと、地域でのあいさつ・清掃の励行に取り組んでいます。ある朝、登校する生徒に「おはよう」と声をかけると「・・・」応答なし。声が小さかったかと、次は一段と大きな声で「おはよう!」と、今度は小さい声の「おはようございます」が返ってきた。おかしいと思って近くのPTA会長さんの様子を窺うと、生徒一人一人に丁寧に頭を下げて「おはようございます!!」と、生徒も元気よく「おはようございます!!」。そうか...、私には心が無かった、傲慢だったのだ。生徒はそれが見えたのだ。会長さんを見習って「おはようございます!!」と頭を下げた。今度は明るい元気な「おはようございます!!」が返ってきた。

25年度も引き続きご支援のほどよろしく願います。



1年生、人権・同和教育の研究授業